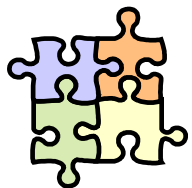


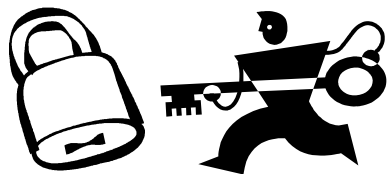
**セキュアかつ利便性に優れた  
ワンタイムパスワード認証『PassLogic』のご紹介**



# 下記内容でお困りではありませんか？

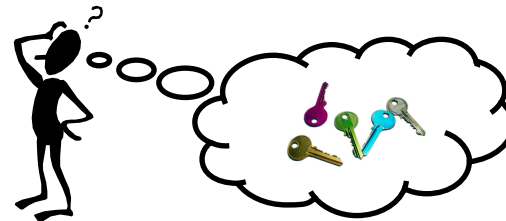
## ①パスワードのセキュリティって大丈夫？

・既に自社ネットワークに侵入されているのでは？システムへの入り口の鍵がいまだにパスワードでは不安…



## ②パスワードが多すぎて管理できない

・グループウェアにウェブメール、CRMにSFA、ワークフローにBIツール…次々に増えるウェブシステムは便利な反面パスワード管理が大変…



## ③導入した認証製品の使い勝手が悪い

・レスポンスが遅い。配布コスト、配布作業が大変。指紋読み取りミス連発。OSにパッチをあてたら動かなくなった…

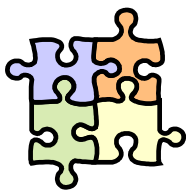


## ④社内データに安全にアクセスしたい

・社外から社内データにアクセスさせたいが、セキュリティ強度の問題で監査を通らない…



上記の様な課題を解決します！



「PassLogic」は、セキュリティトークンや乱数表カードのように肌身離さず所持している必要がなく、ウェブブラウザさえあればいつでも利用できる利便性の高いワンタイムパスワードです。充実した管理機能を持ち、規模や業種業態問わず様々な運用スタイルに柔軟に対応します。

## 1 PassLogic認証の概要

- ① 事前に数字を抽出する「位置」と「順番」を登録し覚える。
- ② ログイン時はその位置と順番から数字を抽出しパスワードとして使用。



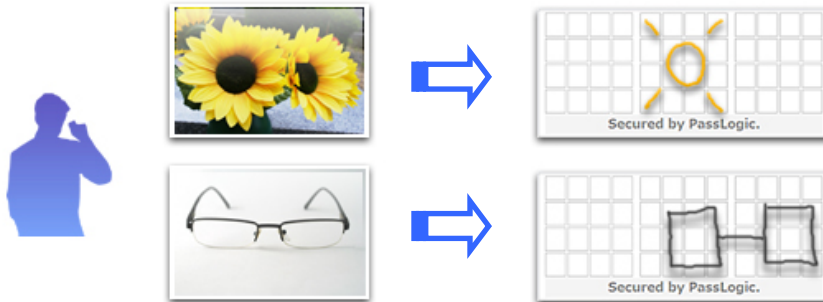
Password  ログイン

ログイン画面にユーザ用の乱数表を表示。ユーザはトークンやカードを管理する必要が無い。

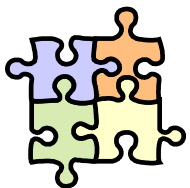


## 2 イメージだから覚えやすく忘れにくい

ユーザは位置情報を自由に設定できる。



位置情報忘れもウェブベースですぐにリカバリサポートできる。また、業務停止も短時間で済む。



# 強力な認証システムを低い管理負荷で運用

## 認証システムの課題

### 固定パスワードでは…セキュリティが心配

1. パスワードをブラウザに保存している。
2. 複数システム共通のパスワードがある。
3. 紙やパソコン内にパスワードをメモしている。
4. プライベートで利用中のサービスと同じパスワードを使用している。

### セキュリティトークンでは…運用負荷が高い

1. 紛失/不携帯/故障/時間ズレなどのサポートおよびリカバリまでの業務ストップ。
2. 煩雑になるライセンスの管理と定期的にかかるトークンの買い替えおよび配布コスト。
3. ユーザによっては3, 4つ管理しなければならない。

## PassLogicによる解決

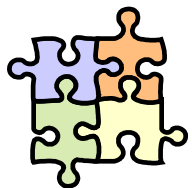
パスワードをワンタイム化することで、セキュアな環境を実現でき、システムを安心して利用していただけます。



配布にかかるコストや、物に依存するがゆえのサポートがなくなります。また、ユーザはトークンやカードを管理する必要がなくなり、利便性が大幅に向上します。



PassLogicはユーザに優しい認証システムです。



# 事例1) ウェブシステムへの安全なアクセス

## 導入背景

・営業担当には営業管理システム、役員には経営状況管理システムへセキュリティ問題をクリアした上でインターネット経由でアクセスさせたい。

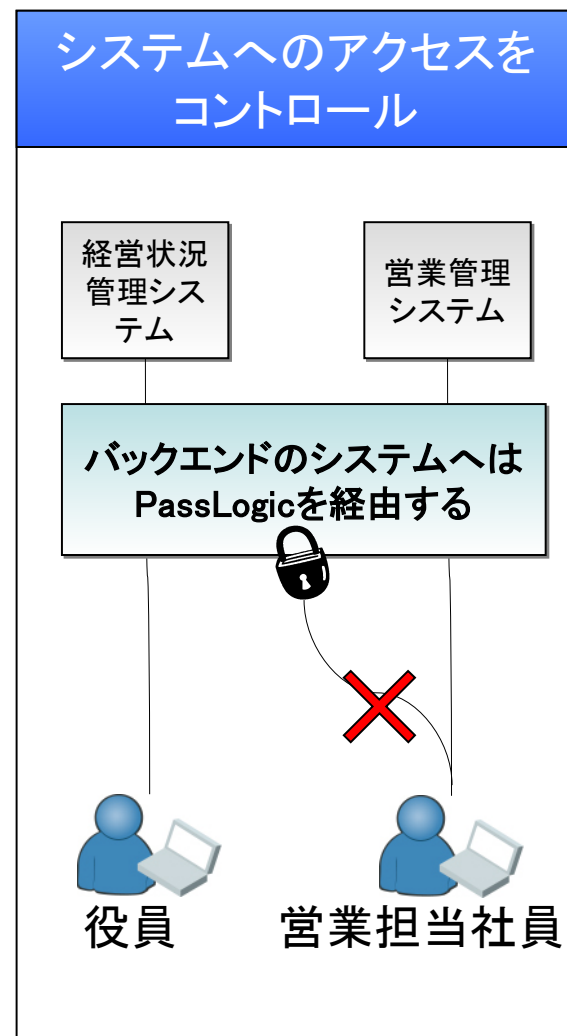


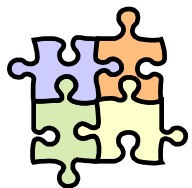
## 導入のポイント

- ・セキュリティ強度が高いワンタイムパスワードである
- ・システムへのアクセス権限をコントロールできる
- ・トークンレスかつクライアントの環境に依存しない仕組みなので運用管理の負担が低い

## 導入効果

・セキュリティが向上したことで社外からのアクセスが許可された。そのため、これまでロスとしていた時間が有効に活用できるようになり業務効率が改善した。





## 事例2) 大規模なユーザ数でも現実的な提案

### 導入背景

- 個人情報を取り扱うため認証を強化したいが、ユーザ数、システムともに大規模のため、トークンやカードの導入が難しい



### 導入のポイント

- 配布物が不要なく、アカウント管理がWebで完結する
- 1つのPassLogicでRADIUSやWebAPIなどによる豊富な連携ができ、多数のシステムをワンタイムパスワード化可能

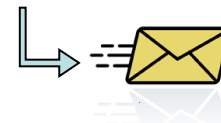
### 導入効果

- 個人情報を取り扱うシステムでも安心して利用可能となり、サービスの信頼性を高めるプラスアルファとしてアピールできている。

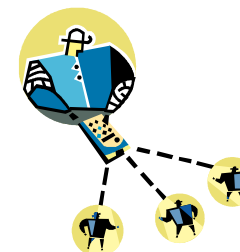
### 管理はWebで完結

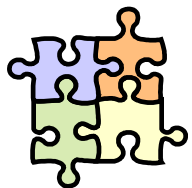
- ① アカウントの追加やサポートも全てWebで完結！

アカウント作成



- ② IDの管理はCSVやLDAPで！大規模ユーザでも容易に運用





## 事例3) SSL-VPNの認証強化

### 導入背景

•BCP(事業継続)の観点で、緊急時にでも在宅勤務が可能な環境を整えておく必要がある。



### 導入のポイント

- SSL-VPNとの連携実績が豊富である
- 特別な機材や配布物が必要なく、ウェブベースで管理やサポートができるため、災害時でも運用できる

### 導入効果

•SSL-VPNによる安全な通信経路に加え、その入口となるログインがワンタイムパスワードになることで、理想的なリモートアクセス環境が構築できた。



担当者

遠隔地での利用開始やサポートが全てWebだけで即日完結するので、リモートアクセス全般で使いやすいそう！

### 即日利用開始

①アカウントの追加作業も、故障や紛失サポートも全てWebで

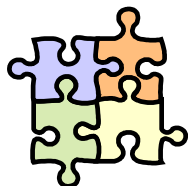
トークンの場合



PassLogicでは！

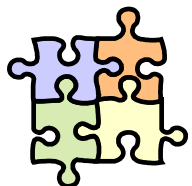
アカウント作成





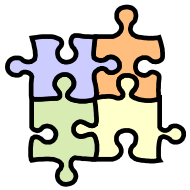
## システム機能概要

機能	詳細
クライアント環境	Webブラウザ(PC・携帯)
サーバ環境	RHEL4/5、Apache
提供形態	サーバソフトウェア
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンタイムパスワード</li> <li>・シングルサインオン</li> <li>・アクセスコントロール</li> </ul>
価格	<p><b>【201D】\204,000(税別)～</b></p> <p>※上記にはハードウェアの費用は含みません。          ※サポート費用および次年度以降のライセンス使用料に関しては販売パートナーにお問合せください。</p>



## 会社概要(2009年11月現在)

社名	パスロジ株式会社 (Passlogy Co.,Ltd.)
住所	〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-7 福祿ビル4F
設立	2000年2月24日
資本金	1億円
業務内容	セキュリティソフトウェア開発販売
代表者	代表取締役社長 小川 秀治
特許権取得	日本/7件 米国/2件 中国/2 韓国/1 オーストラリア/1
主要取引先	株式会社外為どっとコム 富士通株式会社 ニフティ株式会社
主要株主	小川秀治・SBI組成ファンド
加盟(参加)団体	NPO日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA) SSFC/Shared Security Formats Cooperation 情報セキュリティ対策推進コミュニティ



# パスロジ沿革

1997

「乱数表から抜き出してワンタイムパスワードを生成する」システム(パスロジック方式)を発明。

2000

上記パスロジック方式が米国特許(US6141751)を取得。パスロジック方式の技術ライセンスを日本企業へ提供する会社として株式会社セキュアプロバイダを設立。

2005

パスロジック方式を2経路にし強化したシステムが日本国特許(JP3809441)を取得。

2006

特許取得を契機に、VC2社より出資を受け、オリジナル認証サーバ製品の開発を開始。社名を株式会社セキュアプロバイダからパスロジ株式会社へ変更。

2007

認証サーバ製品群を販売開始。  
INTEROP TOKYO 2007でセキュリティ部門特別賞受賞。

2009

パスワード変更方法が日本国特許(JP4275080)を取得。